



あさくら

市議会だより

令和4年

2.1

No.64

P2 11月臨時会

P4 12月定例会

P5 常任委員会

P6 一般質問

P10 審議結果

P12 一般質問追跡

炎の龍に願いを託し

ふるさと

故郷に思いをよせて

九州北部豪雨で被災した杷木松末の石詰地区で、鬼火焚きが行われました。災害から5年。地域も変化を余儀なくされる中、受け継がれてきたものへ改めて思いを馳せました。災害からの復興にコロナ禍と厳しい時ではありますが、皆様にとって笑顔絶えない1年になることをお祈りします。

(撮影：令和4年1月9日)



11月 | 臨時会

新型コロナウイルス対策に
約1億9,300万円
を追加

新型コロナワクチン3回目接種

2回目接種を終了した人のうち、原則8か月（65歳以上の高齢者については2月1日以降7か月）以上経過した人を対象に、3回目の接種を行います。



11月1日に第5回臨時会が開催されました。
新型コロナウイルス感染症対策として急を要する補正予算について審議を行い、可決しました。

※補正予算の一部を掲載しています。



公園ベンチ等の抗菌化

甘木公園、木の丸公園、あまぎ水の文化村等のベンチおよびテーブルを抗菌処理します。



小中学校の手洗い蛇口を自動化

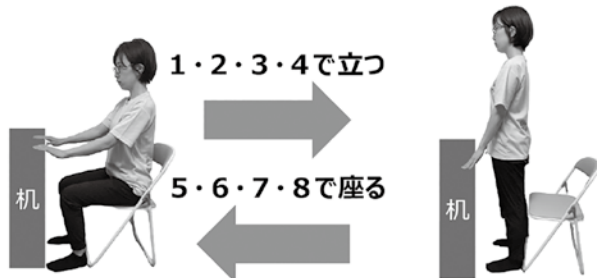
感染症対策のため、市内小中学校の手洗い蛇口のうち810個をセンサー式に切り替えます。



筋力低下防止のための動画配信

市ホームページ等で高齢者の筋力低下を防止するための体操を紹介し、自粛生活下での健康維持・増進を図ります。

スクワット (足・腰を強くする運動)



観光案内板の充実

市内の観光案内板に小石原川ダム、山田堰等の観光ポイントを追加するほか、QRコードを表示し、情報発信を強化します。



ほとめく館(甘鉄甘木駅併設)横の観光案内板

総務文教常任委員会

あまぎ水の文化村を視察



施設の魅力を高める工夫を聞きました

広報委員会

大刀洗町議会を視察



視察の様子 読者に伝わる議会だよりを

12月7日、総務文教常任委員会では、あまぎ水の文化村を視察しました。

あまぎ水の文化村では、令和2年度にせせらぎ館のトイレ改修、令和3年度にはグリーンスポーツゾーンのベンチの抗菌化を行うなど、感染症対策が進められています。

また、年間を通して様々なイベントが企画され、朝倉市内外の利用客に対し、豊かな水や自然、昔ながらの遊び等に親しむ機会を提供しています。

委員会では、今後も、施設の有効活用につながる積極的な取組に期待し、注目していきます。

11月12日、広報委員会では大刀洗町議会を訪問し、議会だよりの取組について視察しました。

「たちあらい議会だより」の特長は、写真、グラフ等を効果的に配し、読者の興味を引く見出しを中心に紙面づくりがされていることです。

また、住民の声を紹介し、それに対する議員の考えを掲載するなど、議会がより身近に感じられるような工夫が随所に見られます。

今回の学びを生かし、より良い議会だよりを目指します。紙面へのご意見等は、お近くの議員または議会事務局までお寄せください。

12月
定例会

新型コロナウイルス感染症対策、災害関連に

一般会計 5億9,718万円を追加

詳細かつ慎重な審査を

委員会付託案件

会期日程

- 11月30日 ★開会
●会期の決定
●会議録署名議員の指名
●議案等の上程
●提案理由の説明
- 12月1、2日 (考案日)
- 3日 ●一般質問(5人)
- 6日 ●一般質問(2人)
●議案等の質疑
●議案等の委員会付託
◆常任委員会
●一部議案の審議
(質疑・討論・採決)
- 7、8、10日 ◆常任委員会
- 13、14日 (事務整理日)
- 15日 ●議案等の審議
(委員長報告
質疑・討論・採決)
●追加議案の上程
●提案理由の説明
●追加議案の審議
(質疑・討論・採決)
●諸般の報告
★閉会

令和3年第6回定例会は、11月30日に招集され、12月15日までの16日間の会期で開会しました。

開会日に報告1件、議案20件が上程され、提案理由の説明が行われました。

一般質問では7人の議員が質問に立ち、消防防災体制、少子高齢化・人口減少対策、農福連携、定住施策、原鶴温泉の活性化等について、執行部と活発な議論を交わしました。

議案等は質疑を行った後、各常任委員

会に付託され、詳細かつ慎重に審査を行いました。

12月6日には、子育て世帯等臨時特別支援給付金の速やかな支給のため、関連経費の補正予算案が追加上程され、審査後ただちに可決しました。

最終日には各委員会の審査結果報告を受け、質疑・討論・採決を行い、全議案を可決しました。また、追加上程された議案1件についても可決され、本定例会を閉会しました。

議会意見交換会の中止について

朝倉市議会は、第7回議会意見交換会を2月4日(金)に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に鑑み、中止することといたしました。

皆様の関心事やご意見を直接お聴きする貴重な機会として、開催に向けた準備を昨年から進めてまいりましたが、感染拡大防止の観点から、やむを得ず中止の判断に至ったものです。

朝倉市議会は、引き続き感染予防に配慮した議会運営に努めてまいります。



本会議、特別委員会の様子はインターネットでもご覧いただけます

議案等の詳細な審査と結果の報告を委員会に委ねることを「委員会付託」といい、付託された委員会は審査の結果を本会議で報告します。

ここでは各常任委員会で審査された案件等の一部を掲載しています。

放置自転車対策の強化

総務文教常任委員会

議案7件を審査しました。

放置された自転車および原動機付自転車への措置を定める

市と関係機関との連携による自転車等の放置防止および適正な処理の推進のため、条例を制定します。

市内の放置自転車は駅および主要バス停の駐輪場を中心に多く、昨年度は防災交通課で約100台が処理されました。

となります。
放置自転車等は、まず、市が利用者等に適切な場所に移動するよう指導し、指導後も一定期間放置されている場合は、移動させ保管します。その後、市の告示板で告示し、警察に照会をかけ利用者の確認と通知を行い、確認できない場合は、一定期間経過後に廃棄等の処理を行います。

委員会では、全員異議なく原案のとおり可決しました。



甘木鉄道駐輪場の放置自転車
(令和2年11月撮影)

子育て世帯の負担軽減

環境民生常任委員会

議案6件を審査しました。

国民健康保険税(均等割額)を軽減

子育て世帯の経済的負担軽減のため、令和4年4月から未就学児に係る均等割額3万6千円を5割軽減し、1万8千円とします。

また、低所得世帯の軽減に該当する場合、軽減適用後の額からさらに5割軽減されます。

例えば、改正前が2割軽減に該当した場合、改正後は6割軽減となります。

委員会では、全員異議なく原案のとおり可決しました。

出産育児一時金等の

支給総額を維持

出産育児一時金等については、これまで産科医療補償制度の加入者が負担する掛金相当額を加算し、支給総額は42万円でした。

令和4年1月から掛金が4千円引き下げられますが、その差額分を少子化対策として出産育児一時金を増額し、支給総額42万円を維持するものです。

委員会では、全員異議なく原案のとおり可決しました。



未来を担う子どもたちの成長を応援します

小石原川ダム堤頂道路が通行可能に

建設経済常任委員会

議案6件等を審査しました。

小石原川ダム堤頂道路(※)の安全対策

※ダム頂上部の道路

6月30日の国道500号の開通以来、歩行者と車両が交錯し事故につながる危険性があるため通行止めになっていた小石原川ダム堤頂道路(全長580m)に、

市が道路銀や白色の区画線等の安全対策を施し、観光スポットとして一般開放できるようにします。

堤頂道路から令和あさくら湖やロッソフィル式ダムの構造を望むことができるようになります。

委員会では、全員異議なく原案のとおり可決しました。

安全施設対策計画イメージ写真



安全施設対策計画イメージ写真

農地改良復旧事業の工事請負契約を審査

一般質問者7人

市長に問う

次世代に誇れるまちづくり

感染症対策のため
本定例会は傍聴自粛をお願いしました



上秋月コミュニティさぎつちよで
やぐらに点火する子どもたち（撮影：令和4年1月10日）

一般質問は、市の課題や方針等について、議員自身の意見も交えながら市に考えを聞くものです。



スマホやパソコンから

朝倉市議会 議会中継

議会中継のページでは、生中継のほか、見たい会議や議員名を選んで録画映像を視聴できます。



かじわら こうじ 議員

【質問項目】

① 温泉地「原鶴」の現状と今後の展望を問う

Q 原鶴の鵜飼いの存続が危うい

A 鵜飼いは漁は筑後川の再生が不可欠



Q 九州北部豪雨による土砂流出で筑後川は魚の住める河川環境にない。来々鵜飼いはできるのか。

A 鵜飼いは漁は筑後川の再生が不可欠だ。関係各所と連携を深め再開に向けて努力していきたい。

Q 原鶴地区内に調整池はあるが、災害のたびに大きな浸水被害に遭っている。要因は何か。

A 原鶴地区内の浸水被害は複雑

な水路構造にも起因し、排水機能が低いこともある。排水ポンプ増強等対策の検討や、調整池周辺の水路の状況を調査し、現状の通水断面を大きくすることも必要だ。

Q 川の駅周辺のパークゴルフ場、旧ハーブ公園を今後どう活用していくのか。新しい取組は。

A 筑後川ではSUP（※）やカヤック、ウォーターサイクルの体験もでき、オートキャンプ場等の意見も出ている。有効活用について地元や関係者の意見を聞き、協議、検討している。

※スタンドアップ・パドルボードの略。
ボードの上に立ちパドルを漕いで水面を進むスポーツ

Q 原鶴地区内の井戸水の水位低下、井戸枯れが始め、非常に危機感を持っている。何が要因か。

A 調査、観察を行い、筑後川を定期的に浚渫、排土することが肝要。河川管理者である国土交通省に対して適切な管理を求めていく。



大丈夫か
原鶴の鵜飼いは

Q 筋トレ教室の拡充はできないか

A 専門スタッフの常時配置が必要だ



さき あきこ 議員
佐々木 明子

【質問項目】

- ① 高齢者福祉政策について
- ② 教育行政について

高齢者支援事業について

Q 朝倉老人福祉センターといわずに荘で実施されている高齢者筋力トレーニング教室が好評である。教室修了後に参加できる健康サポート教室も利用者が年々増加している。体力維持、健康づくりに効果の高い事業であり、甘木・杷木地域にも教室を設置できないか。

A 専門のスタッフの常時配置が必要で、対応がすぐには困難だ。フレイル予防の運動チラシや動画を活用していただきたい。

Q 配食サービス事業の利用基準

を緩和できないか。

A 食材や弁当の宅配、買い物支援の情報を記載した朝倉地域資源マップに民間の配食事業者を紹介している。要件を満たさない方は、その活用をお願いしたい。

インクルーシブ教育について

Q 障がいのある子とない子が同じ学校に通い、同じ学びを得る教育を行うことが真のインクルーシブ教育である。そのために特別支援教室の設置と特別支援教育支援員の適切な配置が必要ではないか。

A 障がいのある児童生徒が、学校で安心して生活できることが学校教育の目指すところだ。児童生徒の現状を踏まえ、ニーズに応じた指導が大切である。



朝倉老人福祉センターでの筋トレ教室風景

Q 少子化対策は男女共同参画が重要

A 男女間格差をなくし魅力的な市に



おおば きみこ 議員
大庭 きみ子

【質問項目】

- ① 市町村合併後の検証と対策について
- ② SDGsの目標5、ジェンダー平等の地域社会づくりについて
- ③ 学習端末使用について

Q 市町村合併から15年が経過しこれまでの評価と課題を問う。

A 行財政改革として、議員報酬や職員給与等、約183億円の削減ができた。この削減により、子ども医療費助成、小中学校の耐震化や空調設備、ブロードバンド整備、秋月博物館建設等の事業ができた。

Q 今後の課題である、協働のまちづくりや人口減少対策を問う。

A 市内17のコミュニティと協働で活動を行い、得意な分野を生か

した取組と支え合いで、市民と協働のまちづくりの推進に努めたい。また、子育て、教育、雇用、住環境整備等、人口減少への対策を実施し、庁内で横断的に取り組む。

Q 人口減少のキーワードである、若い女性が都会へ流出している。地元で結婚し、子どもを産み、仕事でも活躍できる環境づくりが大事だと思うが、市長の見解を問う。

A 多様な価値観の中で、その個性や労力を十分に発揮できる地域、家庭、職場にする必要があると思う。固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み、古い意識や慣例、慣習等を打ち破り、男女間の格差をなくし、これからも朝倉市に住み続けたいと思える魅力的な地域づくりを目指していく。



第4次計画を策定中です

Q 農福連携が輝く朝倉を築くのでは

A 理解を深め関係機関と協力する



なかやま ゆたか
仲山 寛 議員

【質問項目】

- ① 消防防災体制について
- ② 朝倉市の農林行政施策について
- ③ 朝倉市の未来図について

Q ハード面での防災対策は進んでいるが、ソフト面での対策はどのような取組を行っているか。

A 発災直後の生命維持に必要な食料、飲料水、毛布等の生活必需品、避難所運営に必要な資機材を中心に備蓄を行っている。

Q 消防団員確保に向けた取組について、団員処遇改善のためには団員報酬等の増額が必要では。

A 全国的な災害の頻発を受け、消防団の重要性が見直されている。消防団員の士気を向上させ、家族の理解を得るためにも検討する。

Q 農業者の所得倍増に繋がる6次産業化の取組の現状は。

A 特産農産物振興・6次産業化推進事業で、平成28年度から昨年度までに、製造設備の導入など9件の実績がある。県のサポートセンターの活用も助めている。

Q 農福連携事業の意義・目的と市の今後の取組は。

A 農業分野では労働力の確保、福祉分野では障がい者の就労先の確保など、双方の課題を連携により解決していく取組。今後、啓発に努め、障がい者が個々の特性を生かして働き、地域で自立した生活ができるよう、両分野で問題を共有していく必要があると考えている。



農業者と福祉関係者のマッチングが大切

Q 人口減少にあらがい、政策を

A 最善策を考え、組織を構築する



なかしま ひでき
中島 秀樹 議員

【質問項目】

- ① 朝倉市が発展するために何をしたらいいのか

Q 令和2年の国勢調査では、同年10月1日現在の朝倉市の人口は5万273人。5年前と比べて4.1%の減少となった。人口減少にあらがうために、必要な政策を打たなければならぬ。働く場を増やすことは人口を増やすために重要な政策である。市が企業と密に連携して雇用の斡旋をすべきである。

A 市内に雇用を抱える中小企業を育てていくことは重要課題である。

Q これからの工場誘致は難しい。それならば企業の誘致ではなく、

起業できる人材を誘致すべきである。仕事をつくる人を招き、新たな産業の創出を支える仕組みや組織が必要だ。朝倉市にはあるのか。

A 各種創業支援事業に加えて新規創業に向けた創業塾の開設や融資補助制度の運営を行っている。

Q 諦めるのではなく、主体的に物事をやるマインドを持たなければならぬ。心の過疎化が本場の危機である。①職場を増やす②農業生産額を増やす③観光を活性化④定住対策をする⑤新しい産業を創出する。これらが朝倉市発展のために必要な重要政策である。これに特化した組織を作れないか。

A どんな組織にも一長一短がある。新しい課を否定はしないが、最善策を考え、組織を構築していく。



主体的に行動する

たかがコウモリ されどコウモリ



くまもと まさひろ 議員 熊本 正博

【質問項目】

- ① コウモリ被害の対応について
- ② 防災ボランティア団体の活動支援について
- ③ スマート自治体・業務のスリム化について

Q コウモリ大量発生に、「市では対応窓口がありません。コウモリが来なくなる対策をとってください」という市の対応。住民の不安の声届かず。コウモリ被害はこの部署が対応するのか。コウモリ対応窓口はどこにでもあるものではない。住民の安心安全のため、そして、珍しい対応窓口として、朝倉市のアピールにもつながるのではないか。

A 最初の相談窓口として、環境課が対応。内容によって、農林課等と連携を図る。



Q 防災ボランティアに対し、支援を丸投げするのではなく、活動に必要な資材や燃料の配給、重機の準備、きちんとした保険の加入など、活動支援の充実を。

A 被災者支援に対し、民間企業等から賛同を得られるよう協力していく。また、ボランティアの登録制度や協定締結、ボランティア団体への支援の取組を課題として研究していく。

Q 専門的な視点やアウトソーシング(※)による業務をスリム化した「スマート自治体」の実現を。もはや検討段階ではない。

※業務を外部へ委託すること

A 急ピッチでのデジタル化に対し、乗り遅れることなく調査研究を続けていく。

Q 市長に問う どんな朝倉市を目指す

A 朝倉の発展 市民の期待に応える



しばやま きょうこ 議員 柴山 恭子

【質問項目】

- ① 市長に問う

Q 第1期朝倉市総合戦略の基本目標に「誰もが住みたい朝倉」とあったが、上水道の整備は申し込んでも進まず、新築住宅の補助金は市外からの移住だとあるのに、市内で移り住む場合だとない。誰もが住み続けたいと思えるまちづくりを市長はどう思っているのか。

A 朝倉市内で親と子と孫が一緒に住める地域づくりが基本。朝倉に住み続けてもらうための住宅の助成制度の在り方についてしっかり考えていく。

Q 地域放送から流れてくる言葉は行動にも生かされる。防災も含めた情報伝達をどう考えるのか。

A 現在はスマホ、テレビ、メール等に対応している。スマホ等の利用が難しい高齢者がいる現実をふまえ、伝達方法を考えていきたい。

Q 市長の口から、教育にどのように入力したいとか、朝倉の素晴らしさをこんな形で発信し関係人口の増加を図りたいというような思いや熱さを聞くことがなかった。今後の市長の朝倉経営を問う。

A 復旧・復興を着実に進め朝倉を取り戻す。凍結している大型事業の状況を把握し、進めていく。教育委員会と行政とが議論を尽くし、子どもたちが伸び伸びと、学力・体力・道徳とバランス良く育つような学校教育を目指す。また、生涯学習を保障する仕組みを作る。



朝倉の素晴らしさを発信したい
通称大平山通りのアメリカフウ並木

12月定例会で審議した議案等の結果です			◎…全会一致 ○…賛成多数 ※…討論あり
議案番号	議案の件名	議案の主な内容	
総務文教常任委員会			
第107号議案	朝倉市議会議員及び朝倉市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	選挙運動用ビラ作成について公費負担の対象とするもの 1枚当たりの上限:7円51銭 頒布枚数の上限:市長選挙 1万6,000枚 市議会議員選挙 4,000枚	◎可決
第108号議案	朝倉市職員の服務の宣誓に関する条例及び朝倉市公平委員会の委員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	職員および公平委員会委員が行う服務の宣誓において、任命権者等の面前での署名および押印を不要とするもの	◎可決
第109号議案	朝倉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	年次有給休暇を付与する単位を暦年から会計年度に改めるもの	◎可決
第115号議案	朝倉市自転車等の放置防止に関する条例の制定について	自転車等の放置防止および適正な処理に関し必要な事項を定め、市民の良好な生活環境等を確保するもの	◎可決
第120号議案	工事請負契約の締結について (三奈木コミュニティセンター)	工事箇所:朝倉市三奈木4260番地6 工事概要:鉄筋コンクリート造平屋建 延べ床面積 630.44平方メートル 請負契約額:1億7,325万円 工事請負人:環境施設・手嶋組特定建設工事共同企業体	◎可決
第121号議案	指定管理者の指定について (あまぎ水の文化村)	対象施設:朝倉市立あまぎ水の文化村 指定管理者:公益財団法人あまぎ水の文化村 指定の期間:令和4年4月1日から令和9年3月31日まで	◎可決
第123号議案	甘木・朝倉広域市町村圏事務組合規約の変更について	甘木・朝倉広域市町村圏事務組合の事務所を移転するもの (令和4年4月1日施行) 移転前「朝倉市甘木 873 番地3」 移転後「朝倉市一木18番地20」	◎可決
環境民生常任委員会			
第105号議案	令和3年度朝倉市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について		◎可決
第106号議案	令和3年度朝倉市介護保険特別会計補正予算(第2号)について		◎可決
第111号議案	朝倉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	子育て世帯の経済的負担軽減のため、未就学児に係る国民健康保険税均等割額の5割を軽減するもの(低所得世帯の軽減に該当する場合、軽減適用後の額からさらに5割軽減)	◎可決
第112号議案	朝倉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	保育所等の事業者等が、利用申込者へ重要事項を説明する場合、利用者からの申出がなくてもメール等の電磁的方法による提供を可能とするもの。また、利用開始する保護者からの同意も、書面によらず電磁的方法を可能とするもの	◎可決
第113号議案	朝倉市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	出産一時金等について、令和4年1月から産科医療補償制度の加入者が負担する掛金が引き下げられるが、支給総額42万円を維持するため出産一時金の額を増額するもの	◎可決
第114号議案	朝倉市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	新過疎法が適用される区域の産業の振興と雇用の増大を促進し、持続的発展を支援するため、一定の事業用資産に対し、固定資産税の課税免除を行うもの	◎可決
建設経済常任委員会			
第110号議案	朝倉市特別会計条例等の一部を改正する等の条例の制定について	市が行う簡易水道事業を公営企業会計に移行することに伴い、関係条例における規定の整理を行うもの	◎可決
第116号議案	朝倉市営住宅飲料水供給施設条例の制定について	市営住宅飲料水供給施設の設置および管理に関し必要な事項を定めるもの	◎可決
第117号議案	土地改良事業計画の変更について	土地改良事業計画(北川道目木・梅ヶ谷地区)の対象地区面積、工事完了年度、事業費等を変更するもの 地区面積:変更前「8.9ha」→ 変更後「5.9ha」 完了年度:変更前「令和5年度」→ 変更後「令和6年度」 事業費:変更前「6億5,879万3,000円」 変更後「6億5,773万1,000円」	◎可決

12月定例会で審議した議案等の結果です			◎…全会一致 ○…賛成多数 ※…討論あり
議案番号	議案の件名	議案の主な内容	
建設経済常任委員会			
第118号議案	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について	普通河川平川災害復旧工事の請負契約額を変更するもの 変更前「3億545万9,000円」 変更後「3億2,136万9,400円」	◎可決
第119号議案	工事請負契約の締結について (白木谷川流域地区)	工事箇所：朝倉市杷木白木地内 工事概要：農地改良復旧（区画整理）工事一式 整地工 7.62ヘクタール 請負契約額：2億6,180万円 工事請負人：日迎建設株式会社	◎可決
第122号議案	指定管理者の指定について (三連水車の里あさくら)	対象施設：朝倉市三連水車の里あさくら 指定管理者：株式会社三連水車の里あさくら 指定の期間：令和4年4月1日から令和9年3月31日まで	◎可決
その他			
報告第18号	専決処分の報告について（交通事故による損害賠償について）		報告済
第104号議案	令和3年度朝倉市一般会計補正予算（第8号）について		◎可決
第124号議案	令和3年度朝倉市一般会計補正予算（第7号）について		◎可決
発議案第3号	議員の派遣について		◎可決

11 月臨時会で審議した議案の結果です			◎…全会一致 ○…賛成多数 ※…討論あり
議案番号	議案の件名	議案の主な内容	
環境民生常任委員会			
第 103 号議案	令和3年度朝倉市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について		◎可決
その他			
第 102 号議案	令和3年度朝倉市一般会計補正予算（第6号）について		◎可決

補正予算

令和3年度12月

災害関連に 約5億815万円 うち令和3年度災害分 約4億9,015万円
新型コロナウイルス感染症対策 朝倉市独自支援策等に 約4,775万円

令和3年度 12月補正予算の主なもの

《一般会計》 5億9,718万円

- 緊急自然災害防止対策事業費（河川） 4,100万円
- 道路橋りょう、河川災害復旧事業費（令和3年度災害） 2億4,900万円
- 農地農業用施設、林道災害復旧事業費（令和3年度災害） 2億1,305万円
- 公園災害復旧事業費（令和3年度災害） 510万円
- 人事給与とシステム更新事業費 2,192万円
- 健康管理システム改修事業費 707万円
- 林道整備事業費 250万円

新型コロナウイルス感染症 市独自支援策

- 指定管理者支援事業費 1,500万円
朝倉市健康福祉館（卑弥呼ロマンの湯）および甘木B&G海洋センターを支援します。
- 休日夜間急患センター支援事業費 978万円
休日夜間初期急患診療体制の維持、安定運営の継続のため、朝倉医師会を支援します。
- オンライン会議システム通信環境等整備事業費 800万円
- 選挙投開票事務の自動化推進事業費 750万円
計数機、投票用紙読取分類機を購入します。
- 甘木鉄道（株）への沿線自治体による支援事業費 747万円

あの質問、 どげんなった？

Q ペットと一緒に避難できる避難所の態勢がとれないか。(令和2年12月定例会)

A 避難所の軒先など、屋外での対応をお願いしている。



💡 こげんまりました

避難所開設時、朝倉支所の車庫がペットスペースとして開放されるようになりました。



※ケージ、ペットフード等は飼主が持参し、朝倉地域生涯学習センターでの受付が必要です。

議会での一般質問が
市政にどう反映されたか。
その後を追います。



Q コロナ禍での、妊産婦や子育て世帯への支援は。(令和2年12月定例会)

A 子育て相談センターあさくらっこで、電話や来庁相談への対応、訪問等を行う。



💡 こげんまりました

妊娠期から3歳の誕生日まで、子育て情報をSNS (LINE) で提供する「あさくらぎずなメール」事業が始まります(令和4年3月から)。



子育ての不安を
和らげます



ココに注目！ギカイの視線

あさくら出会いサポートセンター JUNOALL (ジュノール)



「あさくら出会いサポートセンター JUNOALL」の開所式(令和3年10月4日ホテルパーレンス小野屋)

自治体の取組としては県内初の出会い支援専門部署「あさくら“縁”結び課」。市では、非営利目的の婚活支援組織「JUNOALL」と協定を結び、データマッチングシステムを生かした良縁探しのサポートをしています。

朝倉市の未来を元気にするため、結婚応援を始めとする市の様々な取組を朝倉市議会も見守っています。

委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長
仲山 徳永 佐々木 鹿毛 熊本 内田
寛 秀俊 明子 哲也 正博 恵三

広報委員会

灯台下暗し
朝倉市と隣接する大刀洗町。全国町村議会の広報コンクールで常に上位入選されています。
このことを知り、議会だより刷新に取り組んでいる当委員会では早速視察に。見出しの字、数、写真、イラストの活用等、多くの市民に読んでいただける紙面作りに努めます。

編集後記

次回定例会の予定

開会日	2月22日
一般質問	2月28日 ～3月2日
議案質疑	3月2日
常任委員会	3月3日～7日
予算委員会	3月8日～14日
閉会日	3月18日

※2月17日の議会運営委員会
で変更になる場合があります。